

「今の生活」幸せ感じて

益城中央小で戦争体験を聞く歴史学習

益城中央小学校で10月30日、6年生の子どもたちを対象に歴史学習が行われ、戦争の経験を持つ豊田フユノさん(上町)が戦時下の体験談を交え、子どもたちに戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えました。

敗戦後、避難民となって過ごした経験を語った豊田さんは「物が氾濫する世の中」に警鐘を鳴らします。話に聞き入る子どもたちに「食べ物も着物もない時代があった。今が幸せな暮らしをしていると感じて欲しい」と強く訴えました。

歴史学習後、話を聞き終えた子どもたちから「平和の大切さがわかった」という感想を聞いた豊田さんの目には涙が浮かんでいました。



経験した戦争の悲惨さを語る豊田さん(写真左)



作品を読み聞かせするとよた氏

作者自らが読み聞かせ

親子で楽しめる図書館まつり

交流情報センターミナテラスで10月27日、「図書館まつり」が行われました。

5回目の開催となる図書館まつりは親子連れなど約100人が参加。講演会では「どんどこももんちゃん」などを手掛けた絵本作家「とよたかずひこ」氏が絵本の読み聞かせを行いました。

作者自らの読み聞かせということもあり、作品中に登場するキャラクターのモチーフとなったものやユニークな名前の由来など、裏話が紹介されると、会場は笑いに包まれました。

家族で参加の田下広貴さん親子(惣領2町内)は「子どもがももんちゃんが好きで参加した。とても楽しかった」とイベントを楽しみました。

町民グラウンド西側で11月10日、町陸上競技協会が主催する第18回益城町小学生駅伝大会が行われ、町内各小学校から16チーム、192人が出場し、健脚を競いました。

当日早朝、土砂降り
の雨で1時間遅れの開催となった今大会では、全12区間、17.4kmの周回コースを小学1年生から6年生までの男女合わせて12人の選手が参加した。

冷たい風が吹き抜ける中、雨雲を吹き飛ばすような子どもたちの元気な走りに、選手家族や友人らが声援を送っていました。



沿道からの声援を受け、必死に走る選手

力走に飛び交う声援

小学生の駅伝大会、町内全小学校が参加